

# 地域とともに もりやまタイムス

発行責任者  
**堀井隆彦**

第 135 号

発行所  
守山市守山2丁目1番30号  
TEL 077-582-2054  
FAX 077-582-1071

今月の一言

「政治家は、サービスマンの認識をもつて」

同志社大学・浜矩子教授

## 守山市議員選挙に向けて③

# 財政難、税金の無駄チェック

9月25日告示

### 議会は「意思決定者」の認識を

#### 住民主役、議会改革のとき

市の資産は市民の財産でもあります。資産を旨く活用することは、市の財政を潤し市民生活を豊かにすることは、いうまでもありません。資産には市有地をはじめ工業団地、都市公園、病院・学校、公営住宅などがあり、生活基盤をなし公共施設として



エルセンター広場に立つ在りし日の守山女子高校の門柱

市民の福祉向上に、また地方経済の発展に不可欠です。地方自治法にもインフラストラクチャーは「住民の福祉の増進に努めると共に最少の経費で、最大の効果を挙げるようにしなければならない」とし「市民の誰もがその効用を享受する社会共有の資産である」と明記されています。

守山市でも人口増加に伴い、生活基盤の整備が着々と進められています。しかし社会資本の名のもとに無駄な税金を使いすぎて、失敗したケースが過去に

ありました。

裁判官にもなった「守山女子」平安女子「立命館」の譲渡・移管に伴うトライアングル

の過程で、守山市が28億円の税金を使い、損失を与えた事実です。市立守山女子高は現在、立命館守山中・高校に移管され新しく生まれ変わりました。当時、市民の見方には二通りあり「立命館の立地によってまちに賑わいをもたらした、活性化へのシナジー効果を産んだ」とする意見と「多額の税金を十分な議論を尽くさず、トップの判断が先行した」との意見がありました。学校法人である市立守山

女子高には国からの補助金が年間8千万円支給されていたこと。約1万人の卒業生が巣立った伝統ある「守女子」の校名が世の中から消えるなど移管へ反対する声が聞かれました。こうしたことから前山田亘宏市長は退任式で「心残りが二つある。その一つが立命館移管問題」と述べられました。心残りは「残念に思う」（広辞苑）を意味しますが、この「残念に思う」思いは、行政をチェックする市会側にもあったのではないでしょうか。議会は政策を提案し決定する立場にあるからです。次に、約20年の歳月

が流れる市有地「タホ用地」です。タホ用地は琵琶湖大橋東詰めの「中古車センター」の場所といえ、分かつやすいでしょう。当時、パチンコ屋さんが倒産したため「市の一等地所におかしなものが建つと大変！」として、市が平成3年、約8500平方メートルの土地を約21億円で取得したものです。当時、坪78万円で購入しました。ある市民から「バブル時代とはいえ、相場より高い値段で買い取った」との声が聞かれました。

現在、この土地は平成11年から中古車センターが借り受け賃貸料を払っていますが、未だにメドが立っていません。「昨年、造成工事に入っています。が、リーマン・ショックの影響で建設は未定です（市関係者）」といった有様です。市民からも「待望の憩いの施設が出来ないなら、市が郵政公社を通じて売った価額で買い戻し、市民のためのより良い施設をつくってほしい」との意見もあります。

また、簡保総合レクセンター跡地（今浜町、7・9ha）です。現在、民間の不動産会社（東京）が所有しています。が、約5年前に市が同社と基本協定を結び合意した「温泉を活用した健康増進施設」の完成は未だにメドが立っていません。「昨年、造成工事に入っています。が、リーマン・ショックの影響で建設は未定です（市関係者）」といった有様です。市民からも「待望の憩いの施設が出来ないなら、市が郵政公社を通じて売った価額で買い戻し、市民のためのより良い施設をつくってほしい」との意見もあります。

数年前に守山市で講演した片山善博・慶応大学教授（現在・総務大臣）は「地方議会の現状をみると、議会のチェック機能が働いているかが疑わしい。大半の地方議会議員は構成メンバーが市長や党となっており、市長の主導で議会が動いているといっても過言ではありません」といっています。

また、中央大学の佐々木信夫教授は「地方議会が首長と競うことが、民意に添えることとです。議会は提案者となり、政治がデザインし公務員が執行する時代。首長はあくまで執行の責任者なのに、全てを決定するのは大間違いです」と話しています。

また、中央大学の佐々木信夫教授は「地方議会が首長と競うことが、民意に添えることとです。議会は提案者となり、政治がデザインし公務員が執行する時代。首長はあくまで執行の責任者なのに、全てを決定するのは大間違いです」と話しています。

また、中央大学の佐々木信夫教授は「地方議会が首長と競うことが、民意に添えることとです。議会は提案者となり、政治がデザインし公務員が執行する時代。首長はあくまで執行の責任者なのに、全てを決定するのは大間違いです」と話しています。

### 5施設が連携結成 利用者の利便性図る

市民サービスの向上を図るため、守山市内の5つの公共施設が連携協議会を結成した。各施設が発信する情報を共有し、利用者の利便性を図ろうという。名称は「5施設連絡協議会」（代表・石原貞成市民サービスセンターを運営管理するNPO法人きょうどう守山理事長）。

加盟施設は、守山駅前総合案内所、エルセンター、中央公民館（市と守山内）さんさん守山の5施設。将来は連携に参加する施設を増やしたいとしている。

### 守山春秋

大震災で意識の変化  
消費が実用主義に

◆大震災をもたらし、た東日本大震災は、生活の環境変化ばかりでなく価値観や意識という人間心理の分野にまで影響を与え始めている。◇多くの尊い命を

失った大震災は、人々の悲しみの中で「人の絆」「命の大切さ」を感じ取り、鎖のように強固につながった。心と命は人間社会を構築する上で最も大切なカテゴリー。人の絆は戦後以降、日本社会で忘れられていたキーワード。震災で目覚めたといえよう。

◆人の絆の一つに被災地へのボランティア活動や義援金などがある。現在、国民が寄付した義援金は3000億円に達している。被災地の方々に全額支給してほしいものだ。

◆震災はセーフティネット（安全思考）の意識を高めた。大津波が家や財産をひとの暮らしを安全な場所に分散させる意識を持たせた。ある銀行では貸金庫が満杯状態になっているという。また結婚する独身女性が増えているとも。

◆ある社会心理学者は「生活のスタンスが変わってきた。共助がキーワードになっている。個人消費も見栄をはった誇示消費が実用主義に。定住社会が遊牧化しつつある」。原発事故による放射能汚染の広がり、思い出のつまった故郷から引き離される苦しい背景にあるようだ。私たちは人の絆、人の和を大切に、助け合う心を忘れずにいたい。



### 高齢者の居場所づくり

#### 守山市、3事業者を選定

#### 来年度から使用開始

高齢者の健康増進、生きがいづくりを進めている守山市は、高齢者の居場所となる生活支援施設を公募していたが、このほど3事業者を選び採用した。

選ばれた事業者は▽石田自治会（地域交流センターななまがり）▽特定非営利活動法人・経営支援リエゾン

く、健康づくりに役立つ施設整備を急いでいた。選んだ3事業者は、市の選考委員会、学識経験者らの外部審査会を経て採択された。

### 石田町自治会 「世代間交流柱に」

#### まほろばの郷「自信、やる気復活」

#### 社会福祉法人友愛「まちなかの縁側」

石田自治会（石田町）は自治会館を増築・改修し環境整備に当たる。子どもから高齢者までの世代間交流を図り、

長生きしてよかったと思える環境づくりに努めるとしている。スローライフ守山「まほろばの郷」（今市町）は、借り家の移設、自

己所有を新築する。要支援、要介護の高齢者を対象に自信ややる気の復活、高齢者が必要とされる喜びを実感出

来る居場所を提供するとしている。社会福祉法人友愛（堀井隆彦理事長）の高齢者の居場所「ゆるり」は、梅田町のセルバ守山1階の空き店舗（借家）を改修し環境整備する。高齢者が住み慣れた地域で生活できるように、まちなかの日常的な居場所を提供するとしている。

友愛の高齢福祉施設事務長の村山啓介さんは「ゆるり」はJR

守山駅舎とペDESTリアンデッキで直結するセルバ守山1階という中心市街地にあるため、さまざまな世代の人々が立ち寄る。まちなかの縁側、づくりを薦めて生きたい。子どもからお年寄りまで誰もが集い、自主グループ活動や各種教室、季節行事など地域の高齢者が主体となり、生きがいづくりに役立つ活動をサポートしていきたい」と話している。

友愛の高齢福祉施設事務長の村山啓介さんは「ゆるり」はJR



# 「中山道守山宿」の保存活動 市民ともに歩み 25 周年へ

歴史探訪や情報発信

中山道守山宿歴史文化保存会

会長

川端美臣さんに聞く

となる「旧宇野本家」は、名称も「守山市歴史文化まちづくり館」と決まり、人々の絆を育む施設計画方針もまとまった。来々4月には、いよいよ使用開始となる。

これを機会に市民と共に歩む同保存会会長の川端美臣さんに活動状況や今後の活動方針を伺った。

◆ 中山道守山宿歴史文化保存会が結成されたのはいつですか。

昭和63年（1988）1月19日に発足した。再来年25周年になる。人間でいえば立派な成人だ。市民の力でさらに成長させたい。

Q 当時の中山道守山宿は、どんな規模だったのでしょうか。

A 東の吉身、西の今宿が加宿となり中山道村大概帳などによると、人口1700人、家数415、本陣2、脇本陣1、旅籠屋30数件もあったという。本陣は大名の限られた人が休泊するところで、文久元年（1861）皇女和宮親子内親王の行列が泊まった記録がある。守山宿は、一週間ひっくり返るほどの騒ぎが

あったという。

Q ところで、保存会が発行した「中山道守山宿の歴史ガイド」（川端弘元市教育長監修）の出版物をみると、通説を覆す事項が目につきます。その一つに謡曲「望月」の仇討ちが実在しないということですが。

A 「守山市誌」「守山城物語」などの書物には、守山宿に「甲屋」という旅籠があった、そこで仇討ちがあった。この仇討ちが事実として、多くの市民が認識していたが、残念ながら謡曲の物語で、フィクションの世界であることがわかった。

Q もう少し詳しく話してください。

A この謡曲「望月」は、元亀元年（1570）につくられた故・寺井秀七郎氏の作品とされ、当時から貨客の往来の盛んな守山宿での仇討ちを題材にしたものであり、能楽界では今も格式の高いものとして、演じられている。

Q フィクションとしての証しがあるのですか。

A 守山宿での「望月」は舞台となった「甲屋」は、30件ほどある旅籠

にもその名前はなく実在しない。また、本陣には屋号は存在せず当時の本陣には、宇野忠右衛門と小宮山九右衛門の名が見られる。

Q 早速、守山宿の観光案内板に訂正されたようですね。

A 謡曲史跡保存会が、史実のように書いていたのを、了解を得て書き改めた。日本古典文学大系や専門家の話を総合すると、仇敵の望月や主君の安田は信濃の郷名や地名に出てくる。

Q 話は替わります。が、もう一つの疑問点に中山道守山宿は68次（宿）か67次（宿）なのか。どちらが正しいのでしょうか。

A 中山道は正式には67次（宿）。歌川広重の木曾街道（中山道）の絵図は、日本橋を一番とするから守山宿は68番目となる。また中山道を69次（宿）とする説もあるが、これは東海道の草津宿、大津宿を合流しているからだろう。

Q 最近開催された「もりやま城探検隊」のイベントは盛況でしたね。

A 守山宿での「望月」は舞台となった「甲屋」は、30件ほどある旅籠



A 20人の定員を2倍を超える45人の市民が参加した。地域の歴史に関心を持つ市民が増えている。市内には戦国前期の城跡が多く残っている。住んでいる身近な所に戦国時代の城があったことを知ってもらうために実施した。

Q 新しい発見がありましたか。

A 多くの古城が住宅開発などで壊され、跡形もない状態だった。現在、寺院となつてい

る岡城や勝部神社となつてい

る勝部城、土塁や堀のあとが残る浮気城跡などが残っているにすぎない。こうした歴史的な文化遺産を後世に伝承していくことが、われわれ保存会の務めだと思

Q 最後に25周年を迎えるに当たり、今後の方針を聞かせてください。

A 守山に残る中世・近世の歴史を学びながら、活動をしてい

は、守山宿が「京立ち守山泊まり」といわれているので、守山から京都までウォーキングする計画を立てている。昔の人の思いを共有したい。市民から保存会の組織をNPO法人にしたらとの声もあるが、保存会はいくまで市民団体であり続けたいと思

将来の夢や命の重さ  
18人の中学生発表

日常生活での感想

や将来の夢などを語る「第14回中学生広場・私の思い2011守山大会」が7月9日守山市民ホールで開かれ、市内6中学校代表の18人が堂々と意見発表した。

会場には市民や関連団体など約800人が詰めかけた。発表者は市内6中学の1年生から3年生の学年別代表18人。1人ずつ壇上に上がり「母の存

在」「食べ物大切さ」「感謝すること」「命の重さ」「私の夢」など題材に発表した。

「差別」をテーマにした守山南中学1年生のデビューリー雪乃さんは「私は空港が好き。多くの外国人が何のわだかまりもなく、変な視線もなく平常心に好感をもてる。しかし学校内では名前や髪の毛など日本人と形の違

いからかわれ、イヤな思いをしている。弟も仲間はずれにされ、泣いて家に帰ってきたことがあった。国境を気にせ

ず、誰もが仲良く生活の出来る社会であってほしい」と人権を見据えた意見を発表した。

「オムライスに込められた言葉」をテーマにした県立守山中学3年生の吉田葵さんは「日常忙しい母親が、オムライスを食べたいといった言葉を聴き、翌日の弁当に作ってくれた。母親が見守ってくれてい

ることに安心した。この体験から周りの人の気持ちに気がつくことの大切さを学んだ」と語った。

このあと、審査発表があり最優秀賞6人、審査特別賞1人、優秀賞11人が選ばれ最優秀賞のデビューリーさんと吉田さんの2人が県大会出場の推薦を受けた。



発表者18人が並ぶ中学生広場

市長さんと打ち水

節電PRで一役

カナリヤ保育園児

節電対策の打ち水キャンペーンを繰り広げている守山市は7月22日、守山二丁目のカナリヤ保育園を宮本和宏市長らが訪れ、園児と共に園庭で水をまいて取り組みへのPRを行った。



同市では、原発事故による電力不足から節電対策を率先して取り組み、7月15日から9月22日までの70日間「打ち水キャンペーン」を実施し、市民や事業所に参加を呼びかけている。

このあと、園児たちは市のマスコットキャラクター「もーりー」や宮本市長、堀井節子園長らと一緒に地下水からくみ上げた水をバケツに小分けしてもらい、手しやくで一斉に水をまいた。園児たちは「いつも園で水をま

いで涼しくなります。園庭には約40人の園児が参加、宮本市長から「水をまくと水が蒸発するさい、熱を奪うので涼しくなります。

受刑者の心情つづる

守山で文芸作品展

滋賀刑務所の受刑者が罪を償い更生する中で、絵画や書、俳句、短歌などを集めた「受刑者文芸作品展」がこのほど守山市立図書館で開かれ話題を呼んだ。

受刑者の社会復帰を支援し、地域社会の理解を広げようと同刑務所、県刑務所篤志面接委員協議会、守山地区更生保護女性会が主催した。

作品展は刑務所内のクラブ活動で手がけた約150点が並んだ。作品には罪を償う心情や社会や家族への思い

が赤裸々に表現されている。

「夢にまで見る妻の顔、泣き笑い、会える日近し、指折り数う」心まで折れそうな夜に、家族からの励ます便りを、明日の糧とす「工場」の窓少し開け、くちなしの甘きかおりを、しばし楽しむ」。

同刑務所篤志面接委員協議会会長の勝島玄有さんは「教養を身につける文芸活動は、受刑者に物の見方や考え方を育んでいる。花を描くにも花の表情や根にも思いがいく。根には人とかかわりを学び、花は太陽のお蔭を知る。花の命を通じて人の命の重さを知ることにつながる。滋賀は再犯の少ない刑務所としても知られている」と話している。